



神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8816

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆バスの工場見学に行ってきました！◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの大森です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。

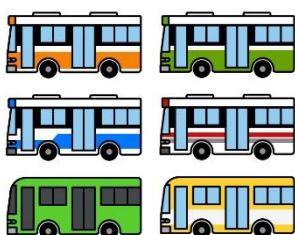


さて、先日、神奈中の幹部研修で、路線バスを製造している工場の見学に行ってきました。私自身、これまで長年に渡ってバスのシステムの営業をしているにも関わらず、バスを製造している現場を見たことがなく、若干、負い目を感じておりました…。そして、いつか見学にと思っていた中、幹部研修の連絡が来て、やっと見に行けることになりました。

すでに見学に行かれたことがある方は、ご存知かと思いますが、簡単にご説明いたしますと、まず、工場はものすごい広大な敷地にありました。そして、車体が流れていくラインがあるのですが、シャーシを組み立てるところから、塗装をするところ、そして、エンジンを取り付け、車の中の座席や車載器などを取り付けるところがあり、最後に、様々なテストをしてOKだったら搬出になります。

今だいぶさらっと書きましたが、1台作るのに2週間くらいかかるらしく、その工程一つ一つに、だいぶ手間が掛かっていることが、実際に見てわかりました。よく、自動車メーカーさんの製造現場の映像なんかを見ると、ロボットがものすごいスピードで動き、どんどんものが流れていく感じですが、路線バスの製造現場は全く違い、それこそ“手作り”という感じでした。

自動車の生産のように“オートメーション化”できているかと思ったら、全然できていませんでした。それにはちゃんと理由がありまして、みなさんご存知のように、



国内のバスの製造会社さんは2社しかなく、そこに全国のバス会社さんから生産の注文が入ります。そして、バス会社さんごとに塗装も違えば、取り付けるエンジンも(最近はハイブリッド車もあって)違ったり、また、いろいろと特別な注文が (2枚目へ→)

(続き→) あるので、一気に同じものを大量生産というわけにはいかないのです。また、それだけ人手が必要ということで、私たちが見学に行った夏場は生産量が特に多くなる時期らしく、働いている人の数も実際とても多かったです。ちなみに、生産が多い時期とそうでない時期があり、そのため作業員の方々は期間雇用者、つまり短期間の雇用の方々に、人員を調整しながらやっているとのことでした。

見学も終わりにさしかかり、工場の方といろいろとお話をしていた中で、私どもの親会社がバス会社ということもあり、こんな質問がこちら側から出ました。「オートメーション化が進めば、バス1台あたりの値段はもっと安くなるんじゃないですか？」すると、工場の方から「たしかに全てが標準化され、オートメーション化が進めば、安くなるんだけど、日本固有の文化で、オーダーメイドの流れはなかなか止まりそうにないんです」とのこと、希望と現実との間には差があるんだなあと感じました。

個人的には、バスのシステムの営業をしている者として、今さらですが、工場を見学できたことは、とても嬉しく、有意義な時間でした。今回は、路線バスの工場見学でしたので、次回は、観光バスの工場見学に行きたいなあと思っています。

◆発行者コラム◆

最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！さて、工場見学に行った日は、まだ8月ということもあって、そのエリアの気温は35度でした……。にもかかわらず、今回の工場見学は研修ということで、社内の事前連絡で「服装は、Yシャツにジャケット着用」とのこと。工場に行けばクーラーでもついているのかなあと思っていたのですが、大型の扇風機だけ……。さらに、工場の中ではヘルメットの着用も義務付けられており、もう滝のような汗で、Yシャツどころかジャケットまでびしょり……。(汗)。おかげで、2キロの減量に成功しました(笑)。大森

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

【発行元】

 株式会社
神奈中情報システム

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0811 神奈川県平塚市八重咲町7番35号

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8816

発行責任者: 神奈中情報システム

